

就労支援センターくまもと9周年事業報告書

～地域にしょうがい者施設ができたなら…～

期日：平成22年2月6日(土)

会場：熊本市食品交流会館 多目的ホール

主催：特定非営利活動法人 自立応援団

〒861-5535 熊本市賈町 780-8 096-288-1752



この事業は平成21年度地域における施設の拠点機能に着目した事業者支援事業の補助金を受けて実施されたものです。

特定非営利活動法人 自立応援団9周年事業 ~地域にしょうがい者施設ができたなら~
~平成21年度地域における施設の拠点機能に着目した事業者支援事業~

期 日：平成22年2月9日(土)

第1部 9:30開場 10:00開演 終了時間：11:45

第2部 13:30開場 14:00開演 終了時間：17:00

会 場：熊本市食品交流会館 多目的ホール

参加者：115名

内容：第1部は、中学生及び障害者施設関係から50名の参加を頂きました。「ふるさとをください」の映画上映を行いました。



「ふるさとをください」

文部科学省選定 推薦：社団法人日本PTA全国協議会 / 社団法人 日本精神保健福祉連盟

監督：富永憲治監督 脚本：ジェームス三木 音楽：小六禮次郎

出演：大路恵美 ベンガル 烏丸せつこ 石井めぐみ 中山仁 藤田弓子

春口宏彰 清原達之 阪田志麻 大迫浩貴



第2部は、一般の方々が65名参加されました。基調講演で宮田喜代志氏(きょうされん熊本支部事務局長 明篤館館長 グループホーム憩い計画代表)は、しょうがい者問題と、市民活動が社会を変えたという話の中で、今後は地域との連携が必要である。その為には、先ず「集う」事からはじまる。その第1歩がこの集まりではないかと思う。今後は、地域と施設が智恵を出し、より良い社会への「つながり」となり、それが大きな「広がり」によって、大きく変わるのではないかと話して頂きました。そういった意味において、この集いが一つのきっかけとなり、次年度以降に繋げていきたいと思っています。

課題

9周年を迎え地域との交流を図る事業が実施できたことは大きかったと考えています。人数は少なかったものの関心を持っていただいたことがうれしく思います。もう少し早い時期に動き、小学生・中学生や高校生にもたくさん参加してもらえよう今後はしていきたいと思っています。



アンケート調査

Q 1 本日のイベントはどのような方法でお知りになりましたか？

- 1 チラシ・ポスター 6名 2 友人・知人から 30名
3 その他

家族2名 老人会 スタッフ メール 学校から配布2名 情報センター

Q 2 この映画を見てしょうがい者理解は深まりましたか？

- 1 深まった 41名 2 深まらなかった 2名

Q 3 施設に望む運営についてどのような事を期待されますか

- ・ 「偏見」を減らせるよう頑張る人にやさしくする
- ・ 一般の方に少しでも色々な事に参加できるイベントを広げて欲しい
- ・ イベントを通じて理解が広がるようにして欲しい
- ・ 今後障害者の方が明るく楽しく生活されるようにできたら幸せに思います
- ・ 施設の中で障害の程度に見合った仕事ができても実際に働くとなると更に課題がありますね。向精神薬と一般の理解なくしては難しい面がありこれらの方面の向上に期待します。
- ・ 自然な交流をお願いします。何かお手伝いができればと思いますが、なかなかできなくてすみません。
- ・ 今からもどんどん障害者の仕事を取り入れて、障害者の仕事を増やして欲しい
- ・ 障害を持った方々がどんどん地域に出て働けるように頑張ってください
- ・ 施設の中を知ることがないので、理解できる。参加できる場があれば良いと思います。
- ・ 皆さんへ仕事ができるよう取り入れる
- ・ 地域に溶け込んでもっと働ける場所が増えると良いですね
- ・ まだまだ知らない事が多くてもっと見学ができればいいなと思います。
- ・ 施設よりもまわりの理解が大切だと思います。
- ・ 映画どおり周囲の理解も必要だと思いましたので、施設の中で作業をしながら社会復帰ができれば良いですね

映画について簡単な感想をお願いします

- ・ 現実的には映画のようにハッピーエンドになることは難しいと思いますが、話し合いや障害者の生活を実際に見て歩み寄る努力が必要だと思いました。
- ・ 障害者にとって勉強になった
- ・ 障害者にとって参考になった
- ・ 周囲の理解が必要だと思いました。
- ・ 知らないことにも目を向けないと思った
- ・ 楽しく見たけど深刻な内容の解決に必要な事もあると思った
- ・ 施設よりも回りの理解が必要だと思った
- ・ もう少し多くの人に見て欲しかった。TVでも放送されると良いと思う
- ・ 感動しました
- ・ 障害者の家族、本人の気持ちもよくわかりました

- ・ 事情を知ると言うことは本当に大切だと思い感動しました
- ・ 参加できて良かった。多くの人がみる機会があれば良いと思います。
- ・ 昨年「ゆずり葉」という映画を見たのですが、それとよくにて障害者に対する思いが人間みんな一様に同じ思いを持っていることが良く分かり同じように感動しました。やはり人間は自分が障害者になってはじめて気づくのですね。私も3年前に中途難聴者になりました。自分になってみて初めて少しづつ理解できるようになりました。
- ・ 障害者の方々が地域に出て行くにあたって住民の方が思う不安な事等が取り上げてあり、とてもわかりやすかった
- ・ 色々差別がなくなり立派に結婚式があげられたこと
- ・ 実情を知ると言うことは本当に大切ですね。感動しました。
- ・ 勉強になりました。また機会があれば参加したい
- ・ 以前精神科に勤務していましたので、心にしみこむものでした。関係者の皆様の努力で社会復帰に向けて良い方向へ行くのが嬉しく思います。まだまだ理解してもらうのは大変ですが頑張ってください
- ・ 悲しかった
- ・ はじめてみましたこんな映画。感動しました。
- ・ 今の時代、他人事ではないいつでも自分もその病気になる可能性があると思うから、身につまされました。素晴らしい映画なのにもう少し多くの人に見て欲しかった。友人・知人にも話してやりたい。
- ・ 事情を知ることができた
- ・ 自分の町に施設ができて私も私は全然いいんですけど、反対する人っているんだなぁを思いました。もしこの「ふるさとをください」みたいなことになったら別にいいんじゃない？というふうに言っていきたいと思います。
- ・ 深刻な内容も楽しく見ることができましたが深刻な内容の解決に必要なこともあると思いました。
- ・ 精神障害者の方々を知っていますが良いとき悪いときの変化が見られます。近くにおられるとやっぱり不安があります。
- ・ 統合失調症という名前を知りませんでした。私達も少し目を向けないといけませんね
- ・ 福祉をとりまく環境はまだまだ厳しいですが、このような機会を通じて理解が深まれば良いと思います。
- ・ 映画のように現実派まだまだ厳しいものがあると思います。この様にうまくいく日が来ることを願っています。自分も障害者との垣根がない様にやっていきたいと思いました。
- ・ 町全体で「しょうがい者」というだけで冷たくするのはどうかと思ったけど、最後にはみんな見方が変わったので良かったと思いました。
- ・ 差別は絶対よくないということがよくわかった。しょうがい者だから...というのはやめてみんなで町などを作っていけるように私はなれるようにしたい。
- ・ 本当に考えさせられた映画でした。自分のみになった時でも、同じ社会で生きていく人間としてそれぞれ助け合いながら生きていけるように人権についても勉強になりました。